

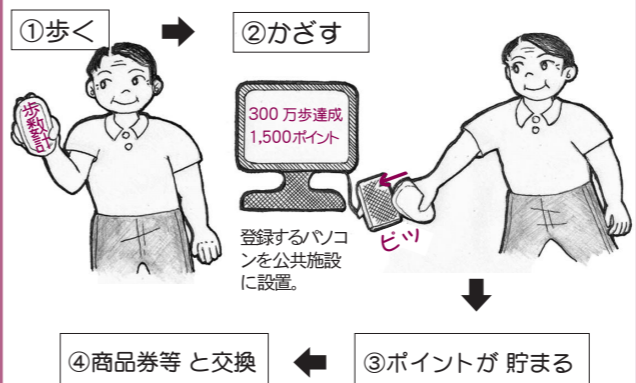


先月、大河原町議会6月定例会のなかで、平成28年度一般会計補正予算が可決され、「歩きたくなるまち」事業関連の事業費が認められました。
 歩くことを主とした運動をお勧めし、健康増進に役立てる事業を計画していますので、本年度の事業内容をご紹介します。
 現在のところの方向性としていますが、詳細については「歩きたくなるまち」創造事業プロジェクトチームで企画立案し、再度ご紹介いたします。

「歩きたくなるまち」事業(案)紹介

来年3月ごろ▶歩いて健幸システム開始

歩数計(万歩計)を記録するシステムを導入し、ウォーキングの継続を支援します。1日8,000歩、1か月25万歩、1年300万歩など目標を掲げながら、歩数にポイントをつけ、年の歩数目標達成時には、商品券等とポイント交換ができる仕組みを予定しています。



◎健康ポイント事業は、歩いた歩数をポイントにしたり、運動教室に参加するとポイントがつくなど、健康に向けた活動にポイントをつけ、ポイントが貯まったら商品券や地場産品などと交換ができるもので、全国的に、実施しているところが増えています。住民の健康寿命が延び、生きがいのある暮らしができるように健康に向けた活動を支援するとともに、医療費等を抑え、社会保障費の伸びを抑えることを目的として実施されています。

9月～11月ごろ▶運動啓発事業

町内の史跡を巡りながら歩く教室やノルディックウォークを体験する教室、歩いて町内一周をするイベントなどを進めていきます。



来年2月ごろ▶ウォーキングマップ作成・配布

町内のウォーキングコースで3kmコース、5kmコースなど推奨コースを設定。また、史跡めぐりコースや観光コースなどを設定し、町内の見どころも入れながらウォーキングマップを作成します。



来年2月ごろ▶公園内健康遊具設置

ウォーキングコースの途中で公園に寄り、柔軟体操やストレッチなど健康遊具を活用できるように設置を進めていきます。(一例)



来年2月ごろ▶ウォーキングコース誘導サイン等設置

ウォーキングコース5kmコースなど推奨するコース誘導サイン等を設置します。ここから目的地まで何kmで何千歩、何キロカロリーの消費などの表示を考えていきます。



※先月号「健康都市おおがわら」の推計30年後の本町の姿で、2015年の人口に誤りがありました。全体人口 誤:23,530人→正:23,768人、年少人口 誤:3,398人→正:3,329人、生産年齢人口 誤:14,920人→正:14,575人でした。訂正してお詫びいたします。

●このページの問い合わせ・連絡先▶企画財政課政策企画係 ☎0224-53-2112

町政覚え書き 大河原町長 伊勢 敏

第39回 文化振興を考える

～合併60周年記念事業「NHKラジオ 民謡をたずねて」及び
 えずこホール20周年記念事業「えずこせいじん大博覧祭」に寄せて～

大河原町合併60周年記念事業として、本日24日、えずこホールにおいて「NHKラジオ 民謡をたずねて」の公開録音が開催された。共催して頂いたNHK仙台放送局に感謝申し上げる。
 収録された番組は、本年9月3日、10日、17日に、NHKラジオ第一・NHKFMで全国放送されるとともに、国際放送される。私の大学での専攻はスペイン語であった。勉強のため、NHKラジオの国際放送、中南米の日系人向け番組を聴いていた。ブラジルを除く中南米地域の公用語であるスペイン語放送だった。番組のイントロに用いられていたのが日本各地の民謡であった。学生時代は一時、海外雄飛の夢を抱いていた。国際社会で活躍するには、日本人として誇りを持つことが重要だと考え、日本文化に関心をもち、歌舞伎に興味をもち、歌舞伎座に通った頃である。その頃、NHKの国際放送で日本民謡を聴き、しみじみと自分は日本人であることを意識した。郷愁に満ちこ

シの利いた曲を好んだ。レコードを買い込み、全国の民謡を聴いた。中でも好きだったのが北海道の江差追分、民謡歌手20人ほどの唄を集めたLP版も買った。ところが、江差追分の音域は広く、到底唄えず、諦めた。
 しかし、1990年代、国際会議出席のため訪問した少林寺のある中国河南省鄭州市、米国ニューヨーク市唐人街のイタリアンレストランなどの懇親交流会の席上、練習もせず下手を顧みず、江差追分を披露したところ、シーンと聴いて頂き大きな拍手を得たことを印象深く覚えている。今も下手だが当時は今より格段に下手だったにもかかわらず、約8分間、最後までシーンとして聴いて頂いた。最も日本らしい唄の一つを聴いたことに対する驚き、エキゾチックさ(異国情緒)が受けたものと思う。注目を集めたことに、内心、嬉しくなった。文化に相当する英語のカルチャーの元来の意味は「耕す」である。それぞれの国や地域で永いときをかけて耕され、洗練されたもの

が文化であるといえよう。最近の私の趣味はネットの動画で世界各地の音楽や舞踊番組を視聴、民族衣装、伝統的音楽や舞踊を楽しんでいる。生まれ育った国や地域に誇りを持つことは、他の国や地域に対し「尊敬」を抱くことに通じると思う。自らの伝統文化を大切にすることは、国際化時代においてはなおのこと、見直される必要があると考える。さて、えずこホール(仙南芸術文化センター)は本年、開設20周年を迎えた。20周年事業として、仙南各地に伝わる話を基にした創造演劇が各地で実施される。総仕上げに来年3月4～5日、えずこホールで、えずこせいじん大博覧祭を開催する予定である。仙南圏域住民が仙南各地に伝わる話を共有することにより、同一圏域に住む私たちが「誇り」を共有し、他の地域から「尊敬」されると思う。文化振興は、地域で永年かけて育まれた文化を知り、地域を知ることから始まると思う。20周年を機に文化を大切にしたい。【6月24日】

駅前図書館今月の新刊「まちの本棚」

一般/ママ、もっと自信を持つ
 中川 李枝子/著 [日経BP社]
 「べり」と「ら」など、数々の名作を生み出した作家・中川李枝子が、保育士時代に子どもたちから教わったこと、導いてくれた本との出会いなどを語る。

小説/ポイズンドクター・ホーリーマザー
 湊かなえ/著 [光文社]
 母と娘。姉と妹。男と女。ままたらない関係、鮮やかな反転、そしてまさかの結末……。人の心の裏まで描き出す、極上のミステリー全6編を収録。

児童/音の大研究
 戸井 武司/監修 [PHP研究所]
 音のしくみや性質、音のきこえかた、私たちの生活とのかかわり、意外な活用など、図やイラスト、写真を使ってわかりやすく解説する。音についてより深く学べる、全国の主な施設も紹介。

絵本/このあとどうしちゃおう
 ヨシタケ シンスケ/作 [ブロンズ新社]
 しんだおじいちゃんへのやをそうじていたら、「このあとどうしちゃおう」とかかれたノートができて……。しんだらどうなる? どうしたい? いきてるあいだにかんがえよう!